|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校保健用 |

|  |
| --- |
| 「新しい保健 ５・６」  **臨時休業明けの年間指導計画参考資料**  **（学校での授業と，学校での授業以外の場において取り組む学習活動の併用版）**  **【５年】　『心の健康』** |

各学校の状況によって，年度当初に予定していた学習内容の指導を，本年度中に終えることが困難な場合に，学校における学習活動を重点化する際の参考資料としてご活用ください。そのうえでなお，学習内容を年度内に終えることが困難な場合は，内容の一部を次学年等に移して指導することも考えられます。各学校の状況に応じて，適切にご判断ください。なお，次学年等に移して指導する場合には担当教員間の引継ぎにご配慮ください。

令和2年（2020年）6月版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

1章　心の健康　第５学年　　教科書p.4-19　配当授業時数：３時間

　単元の取り扱い

◎指導順について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容のまとまり（新学習指導要領） | 単元計画配当 | 指導順について |
| ①心の発達 | 第１時 | 必ず単元の最初に取り扱う。 |
| ②心と体の密接な関係 | 第２時 | ①に続いて取り扱うことが望ましい。 |
| ③不安や悩みへの対処 | 第３時 | ②に続いて取り扱うことが望ましい。 |

◎学校の授業及び学校の授業以外の場での取り扱い

学習内容や学習活動に応じて，取り扱いを判断することが望ましい。指導計画例の「小単元名」「学習内容と活動」の欄に以下の記号を示す。なお，本単元においては，年度当初に3時間で計画していたものの，時数確保が困難な場合，学校の授業以外の場での学習を関連付けることにより，2時間で進めることも可能であることを示している。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分類 | 学習内容や学習活動の別 | 時間数 |
| 学 | 教師による適切な指導が必要な内容や，話し合い・実習などが必要なもので，**学校での指導が望ましい**もの。 | ２ |
| ▲ | 学校での指導が望ましいが，学校の指導計画や実施できる時間数によっては，**学校の授業以外の場での学習が可能**なもの。 | １ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元（章）の目標 | 心の健康に関する課題を見つけ，よりよい解決に向けて考える活動を通して，心は，さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること，また，心と体は深く影響し合っていること，不安や悩みは誰もが経験すること，それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解し，不安や悩みを緩和するための簡単な対処ができるようにする。 | | |
| 単元（章）の観点別評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 心は，さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること，また，心と体は深く影響し合っていること，不安や悩みは誰もが経験すること，それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解し，不安や悩みを緩和するための簡単な対処を行っている。 | 心の健康に関わることから課題を見つけ，心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処したりする視点から，解決の方法を考え，適切なものを選び，それらを表現している。 | 学習活動に粘り強く取り組む中で，心の健康の大切さに気づき，心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処する方法を考えたりする学習活動に進んで取り組もうとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 各時の学習活動に対応した観点別評価規準 | [第1時]　心は，いろいろな生活経験を通して，年齢に伴って発達することを，言ったり書いたりしている。  [第2時]　心と体には，密接な関係があることを，言ったり書いたりしている。  [第3時]　不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法があることを，言ったり書いたりするとともに，不安や悩みへの簡単な対処をしている。 | [第1時]　心の発達について課題を見つけ，その解決に向けて考え，それを説明したり伝え合ったりしている。  [第2時]　心と体の密接な関係について課題を見つけ，その解決に向けて考え，それを説明したり伝え合ったりしている。  [第3時]　不安や悩みへの対処について課題を見つけ，その解決に向けて考え，それを説明したり伝え合ったり，実践したりしている。 | [全時共通]　学習内容に関心をもち，よりよく学ぼうとする意欲をもって，学習に粘り強く取り組もうとしている。  [全時共通]　他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど，自らの学習を調整しようとしている。 |
| 観点別評価の基本的な考え方と方法 | 知識および技能の習得状況について評価するとともに，他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念（原理や原則）等を理解したり，簡単な対処をしたりしているかについて評価する。  評価は，ノートなどの記録や小テスト，まとめの単元（章）テストなどを基にして，単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。 | 知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。  評価は，主にステップ2「調べる・解決する」およびステップ3「深める・伝える」の場面を中心に，発言の内容やノートなどの記録の内容，レポートなどを基に各時の資料を蓄積し，単元（章）を総合して行う。 | ①学習内容に関心をもち，知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため，よりよく学ぼうとする意欲をもって，学習に粘り強く取り組もうとする側面と，②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど，自らの学習を調整しようとする側面から判断して，単元（章）を通して総合的に評価する。  評価は，①，②それぞれの側面から，または一体的に，各時の学習活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録し，資料を蓄積して，単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。 |

【各時の目標および学習活動など】

●観点別評価の方法

［知識・技能］…ノートなどの記録や小テスト，まとめの単元（章）テストなどを基にして，単元（章）を総合して評価する。

［思考・判断・表現］…各時の中心活動（主にステップ2～3）で重点的に評価する。

［主体的に学習に取り組む態度］…学習活動への取り組みで特記すべきことなどを適宜記録し，資料を蓄積して，単元（章）を総合して評価する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 時数 | 学習内容と活動 | 評価の観点と方法 |
| (1)心の発達　（教科書p.5～8）　学　▲ ★他教科との関連：家庭，道徳 | | | |
| ・心は，いろいろな生活経験を通して，年齢に伴って発達することを理解できるようにする。 | 1 | ステップ1　問いについて考える活動を通して，心の発達に気づき，課題を見つける。▲  ステップ2-1　教科書の漫画を読んで，5年生のあきらさんと，5才のあきらさんの行動の違いを考える。学  ステップ2-2　教科書のイラストを参考に，どのような経験を通して心が発達するのかを考える。学  ステップ3　学習したことを基に，ボールを取り合っている二人にかける言葉を考える。学  ステップ4　学習をまとめて，毎日の生活や，これからの学習に生かせることを考える。▲ | ［知識・技能］  記録，小テスト・単元（章）テストなど  ［思考・判断・表現］  発言，記録  ［主体的に学習に取り組む態度］  観察，記録 |
| (2)心と体のつながり　（教科書p.9～12）　学　▲ ★他教科との関連：道徳 | | | |
| ・心と体には，密接な関係があることを理解できるようにする。 | 1 | ステップ1　問いについて考える活動を通して，心と体のつながりに気づき，課題を見つける。▲  ステップ2-1　教科書のイラストの各場面について自分の経験を思い出し，体の変化の例から当てはまる項目を選ぶ。学  ステップ2-2　教科書のイラストの各場面について自分の経験を思い出し，心の変化の例から当てはまる項目を選ぶ。学  ステップ3　学習したことを基に，まなみさんにかける言葉を考える。学  ステップ4　学習をまとめて，毎日の生活や，これからの学習に生かせることを考える。▲ | ［知識・技能］  記録，小テスト・単元（章）テストなど  ［思考・判断・表現］  発言，記録  ［主体的に学習に取り組む態度］  観察，記録 |
| (3)不安やなやみがあるとき　（教科書p.13～18）　学　▲ ★他教科との関連：体育，道徳 | | | |
| ・不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法があることを理解できるようにする。  ・不安や悩みへの対処として，体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などを理解し，行うことができるようにする。 | 1 | ステップ1　問いについて考える活動を通して，自分の不安や悩みに気づき，課題を見つける。▲  ステップ2　不安や悩みで困ったとき，ふだんの自分がしていることを考える。学  ステップ3　学習したことを基に，例1～3の不安や悩みについて，自分にとって効果がありそうな対処の方法を考える。学  実習　不安や悩みで困ったときのリラクセーションに役立つ呼吸法や軽い運動の方法を理解し，実際に行う。学  ステップ4　学習をまとめて，毎日の生活や，これからの学習に生かせることを考える。▲ | ［知識・技能］  実習の記録，記録，小テスト・単元（章）テストなど  ［思考・判断・表現］  発言，記録  ［主体的に学習に取り組む態度］  観察，記録 |